金融仲介機能の発揮状況について
（2019年3月期）

九州フィナンシャルグループ

肥後銀行

鹿児島銀行

目次

１．はじめに～地域密着型金融推進による金融仲介機能発揮 …… 3

２．肥後銀行の状況（2019年3月期）

（１）地域密着型金融に対する基本的な考え方と2018年度の取組みについて …… 4

（２）創業期・成長期・安定期における取組みと2018年度の取組みについて …… 5

（３）低迷期・再生期における取組みと2018年度の取組みについて …… 6

（４）平成28年熊本地震への対応（創造的復興に向けた取組み） …… 7

３．鹿児島銀行の状況（2019年3月期）

（１）地域密着型金融に対する基本的な考え方と2018年度の取組みについて …… 8

（２）営業利益改善支援活動への取組みと2018年度の取組みについて …… 9

（３）金融力による地域企業の経営支援強化と2018年度の取組みについて …… 10

（４）地域内外の経済好循環創出と2018年度の取組みについて …… 11

はじめに～地域密着型金融推進による金融仲介機能発揮

わたしたち九州フィナンシャルグループ（以下、当社グループ）は、持続可能な成長の実現に向け、以下の3つの理念を柱として、みなさまから真に愛される総合金融グループを目指しております。

グループ経営理念

1.お客様の信頼と期待に応え、最適かつ最良の総合金融サービスを提供します。
2.地域とともに成長し、活力あふれる地域社会の実現に積極的に貢献します。
3.豊かな創造性と自由闊達な組織風土を育み、より良い未来へ向かって挑戦し続けます。

このグループ経営理念に基づき、当社グループ内の肥後銀行及び鹿児島銀行では、それぞれの地元である熊本県、鹿児島県、宮崎県を中心に、地域金融機関として、お客様の本業支援や経営改善支援をはじめとする地域密着型金融を推進し、金融仲介機能の発揮に努めております。

本資料は、肥後銀行、鹿児島銀行における金融仲介機能の発揮に向けた取組み等について2018年度における取組みと、その実施状況を数値化した指標（ベンチマーク）をそれぞれ紹介するものです。

当社グループでは、今後ともこれらベンチマークをもとに自らの金融仲介機能の発揮状況を分析し、向上させていくとともに、お客様にわかりやすい開示を心がけ、地域の成長・発展に積極的に貢献してまいります。

2. 肥後銀行の状況（2019年3月期）

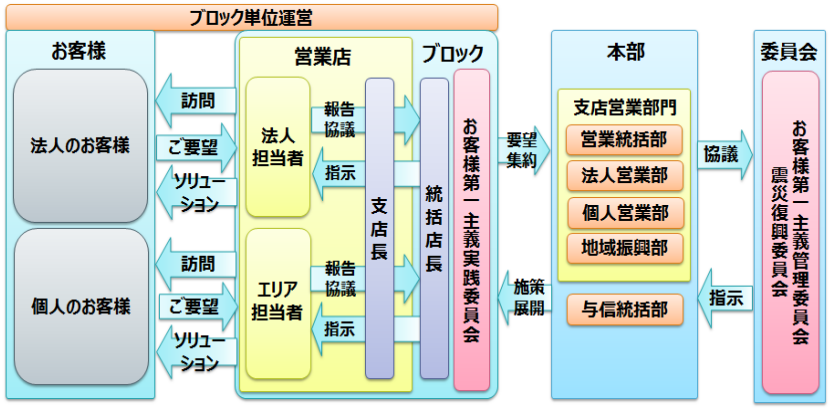
地域密着型金融への取組み

（１）地域密着型金融に対する基本的な考え方と2018年度の取組みについて

◆ 当行は、企業理念に「お客様第一主義による最適の金融サービスの提供」を掲げ、従来よりお客様第一主義の実践に取組んでいます。

◆ 2018年度におきましても、熊本地震からの復旧・創造的復興に向けた課題解決支援を実践し、金融・非金融両面における地域金融機能、地域産業振興機能の発揮を通じて、地域に対するサポート活動を実施いたしました。

◆ 今後もお客様のライフステージに応じた課題解決支援を強化し、お客様課題を起点としたコンサルティング力の発揮により、地域の経済活性化に貢献して参ります。



金融仲介機能の発揮状況（対応するベンチマーク）

◆ 全取引先数と地域の取引先数の推移（先数単体ベース）

（単位：社）	2017/3期		2018/3期		2019/3期	
	熊本県	その他	熊本県	その他	熊本県	その他
全取引先数	17,969		17,819		17,337	
地域別の取引先数の推移	16,451	1,518	16,251	1,568	15,703	1,634

◆ メイン取引（融資残高１位）先数の推移、及び、全取引先数に占める割合（先数単体ベース）

（単位：社、%）	2017/3期	2018/3期	2019/3期
メイン取引（融資残高１位）先数の推移	13,629	14,229	13,814
全取引先数に占める割合	75.8%	79.9%	79.7%

◆ ライフステージ別の与信先数（先数単体ベース）及び融資額（2019/3期）

（単位：社、億円）	全与信先	創業期	成長期	安定期	低迷期	再生期
与信先数	17,337	2,142	1,669	8,175	441	1,461
事業年度末の融資残高	20,452	1,254	2,007	14,130	784	976

◆ 取引先の本業支援に関連する研修等の実施回数、同研修等への参加者数、及び同趣旨の取組みに資する資格取得者数

（単位：回、人）	2019/3期
研修実施回数	42
参加者数	335
資格取得者数	213

2. 肥後銀行の状況（2019年3月期）

地域密着型金融への取組み

（２）創業期・成長期・安定期における取組みと2018年度の取組みについて

◆ 目利き力・知見向上のための人材育成やグループ会社・外部機関との連携により、お客様の課題解決支援に積極的に取組んでいます。

◆ 2018年度の取組みとしましては、事業性評価の実践や積極的なソリューション提供により、お客様の経営指標の改善に取組んで参りました。
今後も事業性評価の取組みをより一層強化し、担保・保証に過度に依存することなく、成長資金の供与等を適切に行ってまいります。

金融サポート	ソリューションサポート
■資金ニーズに応じたファイナンス支援 （創業支援資金・私募債・復興ファンド活用等）	■コンサルティング・営業支援　（計画策定・ビジネスマッチング・事業承継・Ｍ＆Ａ支援等） ■情報支援（各種補助金情報・申請支援、セミナー等）

金融仲介機能の発揮状況（対応するベンチマーク）

◆ 当行が関与した創業件数

（単位：件）	2019/3期
創業件数	120
第二創業件数	0

◆ 創業支援先数（支援内容別）

（単位：件）	2019/3期	
①創業計画の策定支援		5
②創業期の取引先への融資	プロパー	43
	信用保証付	89
③政府系金融機関や創業支援機関の紹介		22
④ベンチャー企業への助成金・融資・投資		6

◆ 当行がメインバンク（融資残高１位）として取引を行っている企業のうち、経営指標（売上・営業利益率・労働生産性等）の改善や就業者数の増加が見られた先数、及び、同先に対する融資額の推移

（単位：社、億円）	2019/3期
メイン先数	13,558
メイン先の融資残高	11,111
経営指標等が改善した先数	8,972

（単位：億円）	2017/3期	2018/3期	2019/3期
経営指標等が改善した先に係る３年間の事業年末の融資残高の推移	7,508	8,146	8,393

◆ 当行が事業性評価に基づく融資を行っている与信先数及び融資額、割合（2019/3期、先数単体ベース）

（単位：社、億円、%）	先数	融資残高
事業性評価に基づく融資を行っている与信先数及び融資残高	2,888	5,857
上記計数の全与信先数及び当該与信先の融資残高に占める割合	16.7%	28.6%

◆ 地元の中小企業与信先のうち、無保証のメイン取引先の割合（2019/3期、先数単体ベース）

（単位：社、%）	地元中小与信先数①	無保証メイン先数②	②／①
地元の中小企業与信先数のうち、無保証のメイン取引先数の割合	15,580	5,453	35.0%

2. 肥後銀行の状況（2019年3月期）

地域密着型金融への取組み

（３）低迷期・再生期における取組みと2018年度の取組みについて

◆ 地域経済の持続的成長に向け、外部専門家や中小企業支援策を活用した本業支援、実態把握に基づく経営改善支援に積極的に取組んでいます。

◆ 2018年度におきましても、事業承継支援やM&A支援、熊本地震からの復旧・創造的復興に向けたファンド活用・各種ソリューション提供等、積極的に行い、当行が貸付条件の変更を行っているお客様の経営状況も順調に進捗しております。

◆ 今後も本業支援や抜本的な事業再生支援を含む経営改善支援へ積極的に取組み、地域経済の持続的成長に貢献してまいります。

経営改善サポート	事業承継サポート
■経営改善計画策定支援、外部機関連携、継続的な支援活動	■事業承継コンサルティング　（事業承継対策アドバイス・専門家紹介等）
■資金繰り表策定支援、事業性評価に基づく経営支援	■Ｍ＆Ａ支援（Ｍ＆Ａ仲介、アドバイザリー、組織再編等の相談）
■ファンドや各種再生スキーム活用による抜本的事業再生支援	■セミナーや相談会実施等による情報提供・サポート活動

金融仲介機能の発揮状況（対応するベンチマーク）

◆ 当行が貸付条件の変更を行っている中小企業の経営改善計画の進捗状況（2019/3期）

（単位：社）	条変総数	好調先	順調先	不調先
中小企業の条件変更先に係る経営改善計画の進捗状況	1,786	33	685	1,068

◆ ファンド（創業・事業再生・地域活性化等）の活用件数

（単位：件）	2019/3期
ファンドの活用件数	19

◆ 外部専門家の活用、他の金融機関及び中小企業支援施策との連携

（単位：社）	2019/3期
外部専門家を活用して本業支援を行った取引先数	197
中小企業再生支援協議会の活用先数	8
取引先の本業支援に関連する中小企業支援策の活用を支援した先数	38

◆ M&A支援先数、事業承継支援先数

（単位：社）	2019/3期
M&A支援先数	101
事業承継支援先数	156

2. 肥後銀行の状況（2019年3月期）

地域密着型金融への取組み

（４）平成28年熊本地震への対応（創造的復興に向けた取組み）

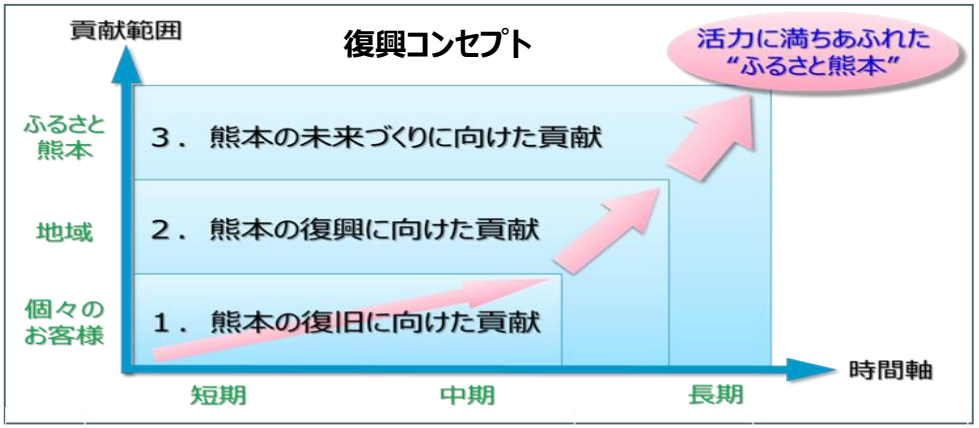
◆ 活力に満ちあふれた“ふるさと熊本”の創生に向け、復興支援方針を制定し、さまざまな創造的復興支援策に取組んでおります。

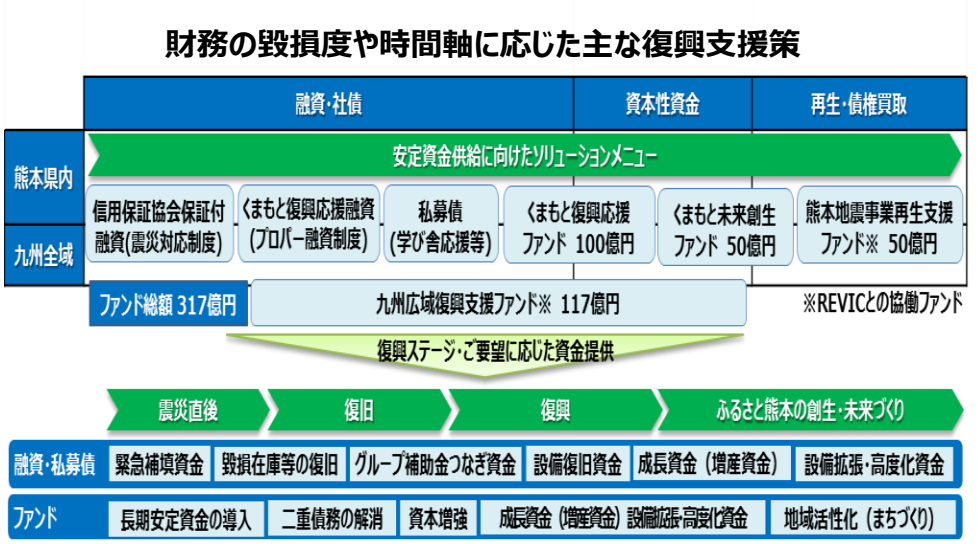
『復興支援方針』
～活力に満ちあふれた“ふるさと熊本”の創生のために～

① 熊本の復旧に向けた貢献
わたしたちは、熊本を地盤とする地域金融機関として、お客様の事業基盤・生活基盤の再建に向け、金融仲介機能を最大限発揮し、被災されたお客様お一人おひとりの問題・課題の解決に迅速かつ真摯に取組みます。

② 熊本の復興に向けた貢献
わたしたちは、これまで培ったコンサルティング機能・ソリューション力を発揮し、産学官金との連携、協調、協働を図り、地域の面的な復興や経済・産業の活性化に向け、積極的に貢献します。

③ 熊本の未来づくりに向けた貢献
わたしたちは、復興、そして地方創生の実現に向け、金融サービスを通じ、後世に誇れる「活気と魅力に満ちあふれた“ふるさと熊本”づくり」に永続的に貢献します。





金融仲介機能の発揮状況（対応するベンチマーク）

◆ 関連する独自ベンチマーク（2019/3期）

マスコミを通じたお客様・地域の復興活動支援数	50件
国内・海外商談会出展社数	247件

3. 鹿児島銀行の状況（2019年3月期）

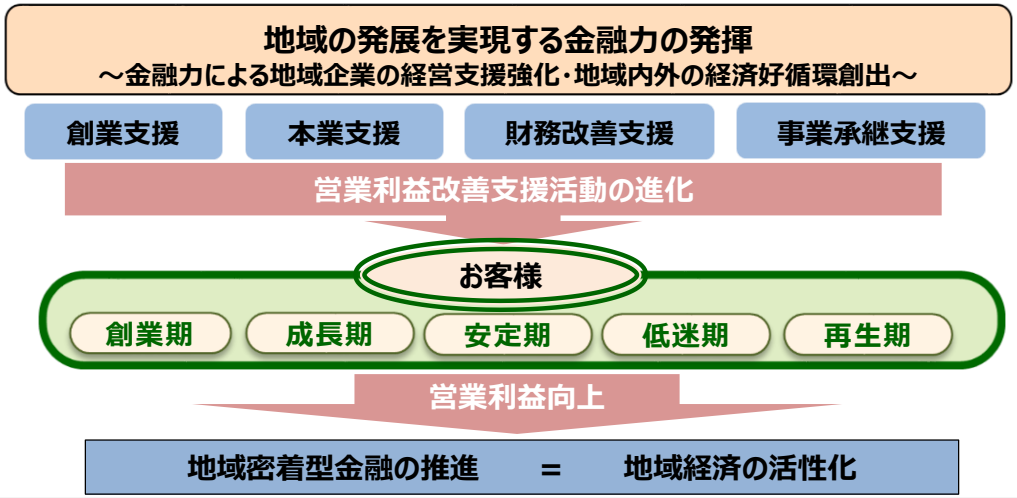
地域密着型金融への取組み

（1）地域密着型金融に対する基本的な考え方と2018年度の取組みについて

・当行は、これまで地域密着型金融推進の柱として、お客様の営業利益向上により地域経済の活性化を実現する「営業利益改善支援活動」を推進し、発展させてきました。

・第7次中期経営計画では、戦略の柱の一つに「地域総合金融機能の高度化」を掲げ、これまでの活動により蓄積された情報・ネットワークを活用し、お客様の“ライフステージ”に応じた事業・金融ソリューションの強化に取組むことで「営業利益改善支援活動」の実効性を高め、地域密着型金融の推進に努めました。

・取組みの結果、2018年度は、全取引先数、メイン取引先数、経営指標等が改善した先に係る融資残高が着実に増加しました。



金融仲介機能の発揮状況（対応するベンチマーク）

◆全取引先数と地域の取引先数の推移（単体）

（単位：社）	2017/3期		2018/3期		2019/3期	
	鹿児島県・宮崎県	都市部・その他	鹿児島県・宮崎県	都市部・その他	鹿児島県・宮崎県	都市部・その他
全取引先数	15,620		16,681		16,709	
地域別の取引先数の推移	14,895	725	15,688	993	15,408	1,301

◆メイン取引（融資残高１位）先数の推移、及び、全取引先数に占める割合（単体）

（単位：社、%）	2017/3期	2018/3期	2019/3期
メイン取引（融資残高１位）先数の推移	9,057	9,838	10,634
全取引先数に占める割合	58.0%	59.0%	63.6%

◆当行がメインバンク（融資残高１位）として取引を行っている企業のうち、経営指標（売上・営業利益率・労働生産性等）の改善や就業者数の増加が見られた先数、及び、同先に対する融資額の推移（グループ）

（単位：社、億円）	2019/3期
メイン先数	9,943
メイン先の融資残高	11,336
経営指標等が改善した先数	6,817

（単位：億円）	2017/3期	2018/3期	2019/3期
経営指標等が改善した先に係る３年間の事業年度末の融資残高の推移	8,997	9,369	9,690

3. 鹿児島銀行の状況（2019年3月期）

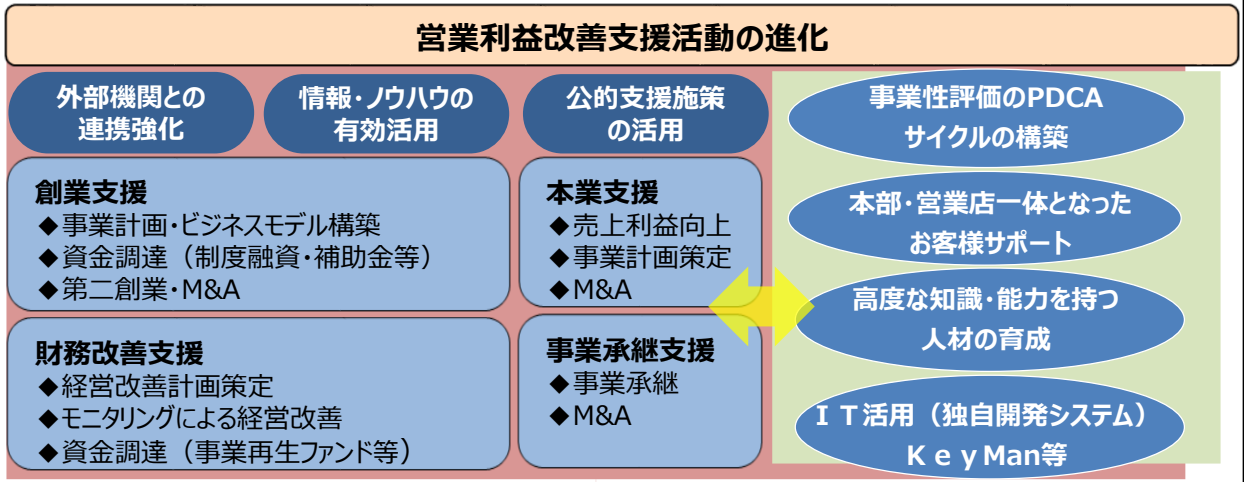
地域密着型金融への取組み

（２）営業利益改善支援活動への取組みと2018年度の取組みについて

・「営業利益改善支援活動」とは、地域金融機関として単なる資金仲介に留まることなく、地域のお客様の営業利益を増加させるべく、経営コンサルティング、営業支援等のソリューションを提供することで、お客様の満足・信頼を得て、取引拡大を図るビジネスモデルになります。

・2015年度に「事業性評価シート」を新設し、企業審査を事業性評価の入口と捉えた「事業性評価のＰＤＣＡサイクル」の構築や、本部・営業店一体となり財務改善支援を専門に行う「事業再生支援室」の設置、本業支援に関連する研修充実による人材育成等、継続的な態勢整備に努め、お客様本位のビジネスモデルを引続き追求していきます。

・取組みの結果、2018年度は、事業性評価に基づく融資を行っている与信先数、融資残高が着実に増加しました。



金融仲介機能の発揮状況（対応するベンチマーク）

◆当行が事業性評価に基づく融資を行っている与信先数及び融資額、割合（単体）

（単位：社、億円、%）	2019/3期	
事業性評価に基づく融資を行っている与信先数	3,118	18.7%
事業性評価に基づく融資を行っている融資残高	8,866	48.6%

◆取引先の本業支援に関連する研修等の実施数、研修等への参加者数、資格取得者数

（単位：回、人）	2019/3期
研修実施回数	22
参加者数	51
資格取得者数	46

◆外部専門家や外部機関との連携

（単位：社）	2019/3期
外部専門家を活用して本業支援を行った取引先数	74
中小企業再生支援協議会の利用先数	18
取引先の本業支援に関連する中小企業支援策の活用を支援した先数	73

◆当行が関与した創業件数

（単位：件）	2019/3期
創業件数	131
第二創業件数	2

◆ファンドの活用件数

（単位：件）	2019/3期
ファンドの活用件数	5

◆Ｍ＆Ａ支援先数、事業承継支援先数

（単位：社）	2019/3期
M&A支援先数	120
事業承継支援先数	171

◆創業支援先数（支援内容別）

（単位：社）	2019/3期	
創業計画の策定支援		2
創業期の取引先への融資	プロパー	69
	信用保証付	58
ベンチャー企業への助成金・融資・投資		2

3. 鹿児島銀行の状況（2019年3月期）

地域密着型金融への取組み

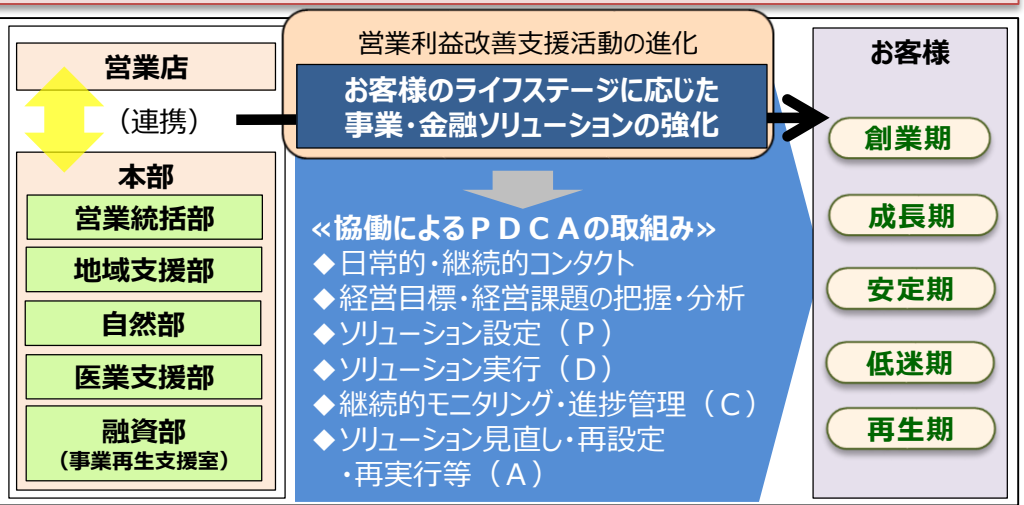
（3）金融力による地域企業の経営支援強化と2018年度の取組みについて

・お客様と日常的・継続的にコンタクトを図り、経営目標や経営課題を把握・分析するとともに、目利き機能向上に向けた人材育成を行い、お客様のライフステージ等の見極めに努めています。

・お客様が、自らの経営目標や経営課題を認識できるように適切に助言し、お客様の主体的な取組みを促進しています。また、必要に応じて外部専門家、外部機関等と連携し対応しています。

・お客様との協働によりソリューションを実行し、継続的にモニタリングを行うことにより、進捗状況の管理の徹底に努めています。また、必要に応じてお客様や連携先と協働してソリューションの見直しを実施しています。

・取組みの結果、2018年度は、ライフステージを捉えている与信先全体として融資残高が着実に増加しました。



金融仲介機能の発揮状況（対応するベンチマーク）

◆ライフステージ別の与信先数及び融資額（単体）（2019/3期）

（単位：社、億円）	全与信先	創業期	成長期	安定期	低迷期	再生期
ライフステージ別の与信先数	16,709	1,647	1,579	10,094	574	1,372
同与信先に係る事業年度末の融資残高	18,230	1,027	1,984	12,040	457	2,378

◆地元の中小企業与信先のうち、無保証のメイン取引先の割合（単体）

（単位：社、%）	2019/3期
地元中小与信先数①	15,256
無保証メイン先数②	8,732
②／①	57.2%

◆当行が貸付条件の変更を行っている中小企業の経営改善計画の進捗状況（2019/3期）

（単位：社）	条変総数	好調先	順調先	不調先
中小企業の条件変更先に係る経営改善計画の進捗状況	1,383	38	211	1,134

3. 鹿児島銀行の状況（2019年3月期）

地域密着型金融への取組み

（４）地域内外の経済好循環創出と2018年度の取組みについて

・持続的な地域経済の発展に貢献すべく「農林水産」「医療介護」「環境・エネルギー」「観光」「インフラ（PPP/PFI事業）」の５分野を成長分野と位置付け、各分野の産業振興、各分野間の連携強化による相乗効果の創出に積極的に取組んでいます。

・取組みにあたり、各分野の特性を踏まえ、「農林水産」は商流、「医療介護」は事業者間連携、「環境・エネルギー」は資源循環、「観光」は地域間連携、「インフラ」は官民連携を重視しています。

・グループ会社（九州経済研究所）においても、当行の戦略と協働しつつ地方自治体の各種事業支援や地域の中核を担う人材の育成等、地域社会・地域経済の発展に資する事業を積極的に展開しています。

・取組みの結果、2018年度は、主要成長分野である「農林水産」「医療介護」「環境・エネルギー」の融資先数が着実に増加しました。

金融仲介機能の発揮状況（対応するベンチマーク）

◆農林水産、医療介護、環境・エネルギー分野の融資先数及び融資残高

（単位：先/億円）		2019/3期	対前年度比
農林水産分野	融資先数	2,300	+23
	融資残高	1,142	+56
医療介護分野	融資先数	1,674	+146
	融資残高	3,032	+645
環境・エネルギー分野	融資先数	1,045	+25
	融資残高	748	－38

◆ABL融資（牛・豚・馬）の融資先数及び融資残高

（単位：先/億円）	2019/3期	対前年度比
融資先数	84	－1
融資残高	329	+8

＜グループ会社による取組み＞

◆地方自治体からの受託先数と件数

（単位：先）	2019/3期
受託先数	57

（単位：件）	2019/3期
農業関連事業	6
医療介護関連事業	1
環境関連事業	2
観光関連事業	10
官民連携事業（ＰＰＰ/ＰＦＩ）	5
その他（各種戦略策定、調査等）	33

◆経営者育成に資するセミナーの開催数と参加延べ人数

（単位：回、人）	2019/3期
セミナー開催数	10
参加延べ人数	150

九州フィナンシャルグループ

肥後銀行

鹿児島銀行